



夏休みの成果を秋の実りへ

校長 佐々木 秀之

校庭、校舎に子供たちの元気のいい爽やかな声が戻ってきました。44日間の夏休みが明け、今日から2学期がスタートします。子供たちにとってこの夏休みは、学期中にはできないかけがえのない多くの体験ができたと同時に、自分がかげがえのない存在であるということも多く感じる事ができた夏休みであったことと思います。そして、この夏休みにできるようになったことを、更に継続して習慣化させたいものです。

例えば、お手伝い……。多くのご家庭では、この夏にご家庭の仕事を子供たちに手伝わせたことと思います。子供はお手伝いが好きですし、お手伝いしたいと思う気持ちは、心も体も成長している証です。また、自分の力を試してみたいという意欲の表れでもあります。普段は自分からやりたいと言わない子供も、夏休みの間は「何か手伝おうか?」と自分から言い出し、続けた子もいることでしょう。この成長を、夏休みの間だけで終わらせては勿体無さすぎます。

手伝いをしてくれたことで失敗しても叱らず、できたことを大げさに褒めれば、また頑張りがたくなります。大人も、「自分でした方が早いのに」「子供にさせると後片付けが大変」「失敗されたら困る」と思いますが、そこは大人の我慢が大切かと思えます。手伝いをすることで、「自信が付く」「やり方を考え工夫する」「責任感が生まれる」「よく気が付くようになる」など、手伝いをさせることは子供たちを一回りも二回りも成長させます。是非、継続したいものです。

例えば、自学自習……。 「毎日机に向かう」ということは、どのご家庭も毎日の課題にしたことと思います。もちろん、時間の違いはありますが、毎日勉強するという習慣を夏休みの間だけで終わらせては勿体無さすぎます。

大人は子供に「あれもやらせたい」「これもやらせたい」と思い、複数の課題を一度にやらせようとしがちです。すると、子供たちの負担が大きくなりすぎ、大人もイライラして無理矢理やらそうとしてしまい、子どもはますます嫌になる、という負のスパイラルに入ってしまいます。これでは大人も子供も長続きしません。クリアすべき課題を一つずつ決めて、それがクリアできたら次の課題へ、というやり方が、遠回りのようで、実は一番確実のようです。

「毎日机に向かう」という習慣ができたのであれば、今後は、例えば「毎日国語と算数のドリルを1ページやる」などの新たな課題を加えていくとよいかと思えます。

「先生、夏休みの間にこんなお手伝いをしました」「先生、虫を観察し続けたらこんなことが分かりました」「先生、こんな絵を描きました」という子供たちの言葉に、「すごいね、見せて」「ほんと?教えてくれる」「上手だね、友達にも教えてあげて」と少し大げさと思えるくらい素直に認め、ご家庭で築いた良い習慣を秋の実りへとつなげられるよう、2学期のスタートを切りたいと考えています。

9月の予定	
1	日
2	月
3	火
4	水
5	木
※	
6	金
7	土
8	日
9	月
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日
16	月
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日
23	月
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土
29	日
30	月
10/1	火

※9月5日・6日の下校時刻

9/5 (木) 給食あり		9/6 (金) 給食あり
実施 水曜時程 1～5年：下校 12:10 頃 6 年： 水泳記録会 下校 16:15 頃	➡	水曜時程 1～6年：下校 13:00 頃
延期 水曜時程 1～6年：下校 13:00 頃	➡	実施 水曜時程 1～5年：下校 12:10 頃 6 年： 水泳記録会 下校 16:15 頃

運動会について

9月に入っても、夏を思わせるような暑い日が続いております。夏休みが明け、運動会の時期となりました。本年度は9月28日(土)に行われます。

さて、誰もが必ず経験をし、色々な思い出がある運動会。印象深い競技はありますか。来年には東京オリンピックがありますが、過去のオリンピックでは、運動会ではよく行われる「綱引き」が正式種目だったこともあるそうです。驚きですね。

本校の運動会では、個人競技として徒競走、団体競技として玉入れ・騎馬戦など、団体演技として創作ダンスや組体操など各学年の実態に応じた演技を行います。一生懸命練習を重ねた子供たちが活躍する様子を温かく見守ってください。

また、当日は高学年の児童が縁の下の力持ちとなって、運動会の運営をします。進んで係の活動に取り組む姿にもご注目ください。

保護者の皆様には今年も多くの場面で協力いただくことがあると思いますが、何卒よろしく願いいたします。(運動会委員長 西村悠樹)

5組の様子

今年の5組は、1年生から6年生まで合わせて11名でスタートしました。低学年と高学年のペアを決め、班やクラスで助け合い、生活全般が進んでいます。子供たちは、一人一人違った苦手がありますが、どの子も明るく元気です。特に日々のマラソンや水泳を頑張り、毎日の作業学習を積み重ねる中で、自分の取組を最後までやりきる力を付けてきました。また、表現活動の音楽や図工は大好きです。先日、みんなで作った粘土作品「5組のなかまたち」を「東京都障害者総合美術展」に出品したところ、奨励賞を受賞し、小池百合子都知事より賞状をいただきました。造形作家の友永詔三先生からは「陶の群像作品は、上を向いた顔は素朴ではあるが表情豊かで、全体にバランスのとれた魅力的な作品」と評されました。この作品は、学校の玄関に飾ってあります。ぜひ、ご覧いただき、感想や励ましの言葉を子供たちにかけていただくと嬉しいです。2学期も元気いっぱい活動していきます。(5組担任馬場礼子)

ことばの教室から

ことばの教室には発音が正しくできない、吃音がある、言葉の発達が気になるなど、言葉に心配のある児童が通ってきています。現在、本校を含め近隣の小学校から49名の児童が在籍しています。週に一回の個別指導が中心で、一人一人の課題に応じた学習を行っています。(授業を抜けても欠席扱いにはなりません)在籍学級担任と連携を図り、保護者と共に三者で協力し合いながら、お子さんにとってよりよい支援をすることを目指しています。ことばの心配に関する相談は年間を通じて受け付けています。お気軽に下記までお問い合わせください。

3924-0261 (ことば直通電話) (ことばの教室主任 大澤明子)

9月の生活指導目標 「 登校時間を守りましょう 」

長い夏休みが終わりました。規則正しく過ごすことができたでしょうか。9月の生活目標は「登校時間を守りましょう」です。登校時間を守ることは安全を守ることにもつながります。たくさんの方に見守られる中で、安全に登校できるよう、時間を意識して登校しましょう。

生活指導部 (富樫孝太郎)

